小学生低学年礼拝2月②

真の父母様生涯路程「優しくて賢いお母様」

今日のお話は「優しくて賢いお母様」です。

真のお父様が「神の子」としてお生まれになるために、神様が長い間準備されたように、真のお母様の誕生にも、神様のご計画と準備がありました。

真のお母様が生まれる前に、お父さんの韓承運(ハンスンウン)先生が夢を見られました。美しい陽の光が差し込む中で、二羽の鶴が仲良く羽を広げていました。それで、真のお母様の御名前は「韓鶴子」(ハンハクチャ)とつけられました。

真のお母様がお生まれになったのは、平安南道(ピョンアンナムド)の安州(アンヂュ)という所でした。都会に近い所で、家の裏には小さな山があり、とても穏やかで温かい感じを与える所でした。

昔から、中国から朝鮮に来るお使いは、安州を通りました。王様に会うためには、川を渡らなければなりませんでした。しかし、川に橋がかかっていなかったので、向こう岸まで小さな船で渡らなければならず、困っていました。それで、川に丈夫な橋を架けようということになりました。

しかし、国には橋を造るお金がありませんでした。そこで、王様は「中国からの使者を迎えるために、橋を作る立派な人はいないか」と、おふれを出しました。それを聞いた真のお母様の先祖の一人である趙漢俊（チョハンヂュン）ハラボジは「よし！　私の全財産を使って国のために橋を作ろう！」と、決心し、自分のお金を全部捧げて、川に立派な橋を架けました。

その夜のことです。趙漢俊ハラボジが寝ていると、夢の中で神様の声が聞こえてきました。「趙漢俊よ、お前の国を愛する真心にわたしは感動した。お前の子孫の中に天女（神の娘）を授けよう！」と、約束して下さいました。

こうして、神様は、約束通り趙漢俊ハラボジの子孫に、真のお母様を誕生させられたのです。

しかし、サタンは、真のお母様の命をねらってきました。真のお母様のお母さんでいらっしゃる洪順愛大母様が真のお母様を抱いて寝ていたら、角の生えた真っ黒なサタンが近寄って来て「この子が生まれたことによって私は死んでしまう！」と言って、命を奪おうとしました。その時、大母様は「サタンよ、去れー！　この娘は、私にとって本当に大切な娘なのに、どうしてお前は命を奪おうとするのか！」と、叫び追い払いました。

なぜ、このようなことが起きるのか、大母様が神様に祈ってみると、夢の中で「その子は将来、天の花嫁となるから大切に育てなさい」と、教えられたのです。

その時から、大母様は、真のお母様を自分の娘とは思わないで、神様から授けられた「神の子」として大切に育てました。

真のお母様は、真の母としての使命を果たすために誕生されました。幼い時から、いろいろな試練がありましたが、真のお母様はいつも神様に祈り、神様を信じながら生活してこられたのです。

私達も、真のお母様のように、親である神様に祈り、神様が喜ばれる子女として成長できるようにこれからも頑張りましょう。